

[活動報告]

19世紀学学会活動報告(2010年度)

2010年7月10日(土)	<p>19世紀学学会研究発表会&シンポジウム*</p> <ul style="list-style-type: none">● 津田純子 (新潟大学教育・学生支援機構教授) 「近代大学制度の成立と変容-19世紀末ドイツの大学教育学運動に着目して-」● シンポジウム報告者: 松本 彰 (新潟大学人文学部教授) 「音楽におけるコメモレーション-18、19、20、21世紀の音楽と社会-」● コメンテーター: 菅原陽心 (新潟大学経済学部教授) 林 豊彦 (新潟大学工学部教授) <p>19世紀学学会総会</p>
2010年11月8日(月)	<p>研究会「近代的テキスト批判・史料批判の方法とその実践-教会法史における史料研究の現場から-」*</p> <ul style="list-style-type: none">● 講演者: Anders Winroth (イェール大学歴史学部教授) Editing Gratian's Decretum in the Nineteenth and in the Twenty-first Centuries: From Richter and Friedberg to Now (19世紀と21世紀におけるグラティアヌス教令集の校訂:リヒター、フリートベルクから現代まで)● コメンテーター: Peter Landau (ミュンヘン大学法学部名誉教授)
2011年1月22日(土)	<p>シンポジウム「ミュージアム論-ミュージアムの現在-」*</p> <ul style="list-style-type: none">● 安川晴基 (千葉工業大学・ドイツ文学) 「歴史博物館と集合的記憶のマッピング:ドイツ歴史博物館、ベルリン・ユダヤ博物館、〈テロのトポグラフィ〉」● 荒井直美 (新潟市新津美術館・学芸員) 「新潟市新津美術館13年の軌跡」● 大倉 宏 (美術評論家・砂丘館館長) 「住まい・画廊・美術館」
2011年3月10日(木)	<p>シンポジウム「裂開する世界図絵:近代ヨーロッパの〈庭園〉表象における欲望・創出・媒介」*</p> <ul style="list-style-type: none">● 安西信一 (東京大学文学部教授) 「コテージ・ガーデン-内向するイングリッシュネス-」● 鷲見洋一 (慶応義塾大学名誉教授・中部大学) 「直接性から間接性へ-表象領域の変容と転換-」

* 新潟大学人文社会・教育科学系、人文学部、「19世紀学研究所」と共催